



むさし介護アカデミー

介護福祉士国家試験 WEB 対策講座

～障害の理解～

問 次の記述のうち、適切なものには○、誤っているものには×をつけ適切なものに修正しなさい。

1. 医学モデルとは、「障害は個人がもっている」という考え方である。
2. 医学モデルとは、「治療することで障害が軽くなる」という考え方である。
3. 社会モデルとは、社会的環境によって作り出したものである。
4. 統合モデルは、医学モデルと社会モデルを混合したものである。
5. ICF（国際生活機能分類）は、1980年にWHO（世界保健機関）が発表した。
6. ICFの表では、矢印が一方向に向けられている。
7. 病気の変調により、障害を生じ、それが能力障害を引き起こし、社会的不利にいたるとするのはICIDHの障害の考え方である。
8. ICFの生活機能には、心身機能・身体構造、活動、参加の3つのレベルに分類している。
9. 個人因子とは、趣味や性格などが当てはまる。
10. 「脳血管障害を患い、片麻痺が出現したため仕事を辞めた」ことはICIDHである。
11. 「両目を失明し、身体障害者手帳を取得し働く」ことはICFである。
12. 「統合失調症になり、長期入院している」ことはICFである。
13. 「脊髄損傷になり、自身の経験や想いをSNSで情報発信している」ことはICFである。
14. 身体障害は、障害者基本法に該当する。
15. 発達障害は、障害者基本法に該当する。
16. 学習障害は、障害者基本法に該当する。



むさし介護アカデミー

介護福祉士国家試験 WEB 対策講座

～障害の理解～

17. 身体障害者のうち 12 歳以上である者は、障害者総合支援法に該当する。
18. 学習障害者のうち 18 歳以上である者は、障害者総合支援法に該当する。
19. 知的障害者のうち 16 歳以上である者は、障害者総合支援法に該当する。
20. 難病等のうち 12 歳以上である者は、障害者総合支援法に該当する。
21. 白内障は、身体障害者福祉法に定められている。
22. 糖尿病性網膜症は、身体障害者福祉法に定められている。
23. 肢体不自由者は、身体障害者福祉法に定められている。
24. 腎機能障害者は、身体障害者福祉法に定められている。
25. 知的障害者に交付される手帳は、知的障害者手帳である。
26. 身体障害者に交付される手帳は、身体障害者手帳である。
27. 精神障害者に交付される手帳は、療育手帳である。
28. 精神障害者とは、統合失調症を有する者である。
29. 精神障害者とは、知的障害を有する者である。
30. 精神障害者保健福祉手帳は、1～3 級までである。
31. 知的障害者は精神障害者保健福祉手帳の交付は対象外である。
32. ノーマライゼーションの思想を提唱したのは、エリクソンである。
33. ノーマライゼーションの理念を 8 つに原理にまとめたのはバンク・ミケルセンである。
34. 職業的リハビリテーションは、WHO によるリハビリテーションに該当する。



むさし介護アカデミー

介護福祉士国家試験 WEB 対策講座 ～障害の理解～

35. 経済的リハビリテーションは、WHO によるリハビリテーションに該当する。
36. 教育的リハビリテーションは、WHO によるリハビリテーションに該当する。
37. 地域的リハビリテーションは、WHO によるリハビリテーションに該当する。
38. 作業療法士は、立位訓練をおこなう。
39. 義肢装具士は、日常生活訓練をおこなう。
40. 理学療法士は、短下肢装具の製作をおこなう。
41. 言語聴覚士は、失語症の評価をおこなう。
42. 障害児を可能な限り通常学級で受ける働きがあるのは、インテグレーションの考えである。
43. インテグレーションは、ノーマライゼーションの理念を展開していく原則がある。
44. インクルージョンの対象者は、外国人も含まれる。
45. インクルージョンは、社会的包括という意味である。
46. 1981 年の国際障害者年のテーマは、完全参加と平等である。
47. 1981 年の国際障害者年のテーマは、ノーマライゼーションの理念に基づくものである。
48. 1981 年の国際障害者年では、ICIDH の障害のとらえ方をふまえた。
49. 1981 年の国際障害者年の理念では、リハビリテーションが重視された。
50. 障害者権利条約では、障害者の権利を実現するための条約などについて規定している。
51. 障害者権利条約の発行は、諸外国に比べて日本は先進的におこなわれた。



むさし介護アカデミー

介護福祉士国家試験 WEB 対策講座

～障害の理解～

52. 障害者権利条約の目的は、無差別、平等、社会への包容などである。
53. 障害者権利条約は、国際条約上初めて合理的配慮の概念が取り入れられた。
54. 障害者総合支援法には、地域共生社会の実現を目指している。
55. 障害者差別解消法の合理的配慮に関して、民間企業の場合、努力義務となっている。
56. 障害者雇用促進法に基づく対応として、民間企業には、雇用する労働者の5%に相当する障害者を雇用しなければならない。
57. 障害者雇用率制度に満たない企業は、納付金を支払うことで調整している。
58. 医学的リハビリテーションの一環として、ジョブコーチを派遣することもある。
59. 障害受容過程とは、ショック期⇔否認機⇔混乱期⇔努力期⇔適応期である。
60. 「抑うつ反応を起こす」ことは、障害受容のショック期である。
61. 「自らの努力が必要だと気付く」ことは、障害受容の混乱期である。
62. 「現実を実感することが難しい」のは、障害受容の適応期である。
63. 「障害を受け止めることができる」のは、障害受容の努力期である。
64. 色覚は、視覚の機能である。
65. 音声は、視覚の機能である。
66. 糖尿病は、視覚障害を生じる。
67. 緑内障は、視覚障害を生じる。
68. 網膜色素変性は、視覚障害を生じる。



むさし介護アカデミー

介護福祉士国家試験 WEB 対策講座

～障害の理解～

69. 夜盲症は「まぶしい」と訴える。
70. 視野狭窄は「見えないところがある」と訴える。
71. 羞明とは「昼間なのに暗い」と訴える。
72. 明暗順応とは、部屋の暗さが慣れるスピードである。
73. 視覚障害者の移動手段として、T字杖がある。
74. 視覚障害者の移動手段として、点字ブロックがある。
75. 聴覚障害者の移動手段として、盲導犬がある。
76. 聴覚障害者の移動手段として、音声ガイドがある。
77. 後天性難聴の原因として、流行性耳下腺炎がある。
78. 後天性難聴の原因として、妊娠中のウイルス感染がある。
79. 先天性難聴の原因として、低体重児がある。
80. 先天性難聴の原因として、遺伝子の異常がある。
81. 感音性難聴の原因として、老人性難聴がある。
82. 感音性難聴の原因として、中耳炎がある。
83. 伝音性難聴の原因として、耳硬化症がある。
84. ウェルニッケ失語症は、運動性言語障害である。
85. ブローカ失語症は、自発的に発語はできるが、話しかけられた内容の理解が乏しい。
86. 構音障害の主な原因として、舌がんがある。



むさし介護アカデミー

介護福祉士国家試験 WEB 対策講座 ～障害の理解～

87. 運動性構音障害は、言語中枢に障害はない。
88. 視覚失認とは、視覚野の損傷で現れる。
89. 失読とは、形や物を認識できない状態である。
90. ブローカ失語症がある人に、クローズドクエスションを用いて会話した。
91. 視覚障害者が障害のある人に、コミュニケーションエイドを用いて会話した。
92. 聴覚障害がある人に、筆談を用いて会話をした。
93. 麻痺とは、随意的に運動機能の低下、もしくは消失した状態のことをいう。
94. 頸髄損傷は、片麻痺が現れやすい。
95. 腰髄損傷は、対麻痺が現れやすい。
96. 脳性麻痺の痙直型は、ジャックナイフ現象が起こりやすい。
97. 脳性麻痺のアトーゼ型は、手を伸ばすと振戦が起きる。
98. 右脳障害の場合は、右片麻痺が出現しやすい。
99. 前頭葉の障害の場合は、高次脳機能障害が現れやすい。
100. 左脳障害は半測空間無視が現れやすい。
101. 大島の分類での重度心身障害として当てはまるのは「歩行障害、IQ20」である。
102. 出生前における重症心身障害の原因となるものは、高ビリルビン血症である。
103. 重症心身障害のある人が併発しやすい2次障害は、褥瘡や便秘である。



むさし介護アカデミー

介護福祉士国家試験 WEB 対策講座

～障害の理解～

104. A 型肝炎ウイルスの感染経路は、経口感染である。
105. B 型肝炎ウイルスの感染経路は、母子感染である。
106. C 型肝炎ウイルスの感染経路は、輸液製剤による感染である。
107. チャイルド・ピュー分類による肝機能障害（身体障害者手帳）の認定基準となる点数は5点である。
108. 肝機能障害がある人は低アルブミン血症になりやすい。
109. 植物性タンパク質を多く含む食品は、牛肉である。
110. ヒト免疫不全ウイルス（HIV）は、エイズのことである。
111. ヒト免疫不全ウイルス（HIV）は日和見感染で起こる。
112. ヒト免疫不全ウイルス（HIV）による死亡率は低下している。
113. ヒト免疫不全ウイルス（HIV）は、経口感染である。
114. 手洗いはスタンダードプリコーションに含まれる。
115. サージカルマスクはスタンダードプリコーションに含まれる。
116. 血液透析には、シャントの造設が必要である。
117. シャントを造設している腕で血圧測定をしても問題はない。
118. 腹膜透析は、自宅で実施可能である。
119. 腎機能障害がある人は肝硬変を引き起こす可能性がある。
120. 腎機能障害がある人は、高タンパク質、低ナトリウム、低カリウム、低エネルギーを考慮した食事支援が基本である。



むさし介護アカデミー

介護福祉士国家試験 WEB 対策講座

～障害の理解～

121. パーキンソン病で姿勢反射障害がみられた場合は、ホーエン・ヤールの重症度分類ではステージ II に該当する。
122. 関節リウマチの初期症状としてみられるのは、朝のこわばりである。
123. 人工肛門で普通便になりやすいのは、下行結腸ストーマである。
124. ベースメーカー装着している人は、電気カーペットの利用を避けなくてはならない。
125. 呼吸機能障害がある人に、介護福祉職はスクイーピング法をおこなった。
126. タックマンモデルにおけるチーム形成でコンフリクトが起こるのは混乱期である。
127. レスパイトケアは、家族に対しての介護休息として用いられる。
128. ショートステイはレスパイトケアにも含まれる。